

# 吉原直樹ほか編 『グローバル化とアジア社会 ポストコロニアルの地平』(東信堂)

ポストコロニアルの地平を劇走するアジアを、既成の知・西欧的パラダイムを超えて見つめ直し、都市と農村、経済発展と貧困、階層とコミュニティ等、グローバルとローカルが複雑に交差する位相を多角的に照射・分析する。

・目次

序章 グローバル化とローカル化 (新津晃一)

1章 ポストコロニアリズムと現代日本 (成家克徳)

2章 アジアの都市化の新局面 (新田目夏実)

3章 アジアの都市 農村関係の変貌 (池田寛二)

4章 都市中間層の動向 (今野裕昭)

5章 ポスト開発と国民統合・民主化 (倉沢愛子)

6章 アジア社会の都市グラスルーツ (ラファエラ・D・ドゥイアント)

7章 マニラのスクオッター (青木秀男)

終章 モダニティとアジア社会 (吉原直樹)

---